

特集

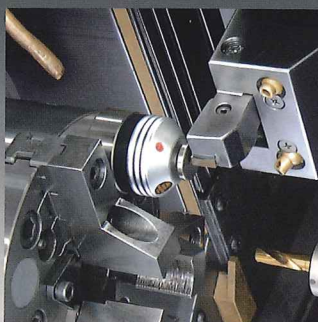
あれから10年

加工前の刃先位置測定に、
信頼と実績のベースマスターシリーズ。

刃先位置測定器

BASE MASTER Series

ベースマスター



機械・ワーク・刃具に応じて
豊富なバリエーションが
サポートいたします。



あらゆる刃具・ワークに対応



通電式の
標準タイプ



最小測定工具径
φ0.05 対応



本体と測定部の
独立構造



外形φ20の
超コンパクト



超薄型
高さ10mm

業界標準や資格制度など整備

ロボットSIerの団体が発足

ロボットのシステムインテグレーター(SIer)ら100社超が7月13日、都内で設立総会を開き、FA・ロボットシステムインテグレータ協会(SIer協会、会長・久保田和雄三明機工社長)が発足した。初代会長に就任した三明機工(静岡市清水区)の久保田社長は「多くの同志とともに大きな一歩を踏み出すことができた」と感慨を述べた。

目標を上回る144社

SIer協会の発足に名を連ねたのは、正会員123社と協力会員21社の計144社。「発足時100社を目指したが、結果的にそれを大幅に上回る社数になった」と久保田会長は話す。

同協会は日本ロボット工業会の特定事業委員会との位置付けだが、予算や裁量など独立性を確保した形で活動する。

活動の目的は「ネットワークの構築」「事業基盤の強化」「専門性の高度化」の3つ。ネットワークの構築では、SIer間で受発注ネットワークを作り、協会内でのビジネスマッチングを目指す。製造業などのロボットのユーザーが自社に適したSIerを探しやすいよう、

会員企業の一覧も公開する。

事業基盤の強化ではSIer同士の協業体制の構築や、仕様の決め方など業界の標準を定める。学生向けのイベントを通してロボットSIerの業種そのものの認知度を高め、リクルート活動も支援する。

専門性の高度化では、ロボットSIerとしての技術力を証明するための、個人を対象とした資格制度を創設する計画だ。技術者向けだけでなく、営業担当者向けの資格の創設も検討する。

協会副会長の渡辺互バイナス(愛知県稲沢市)社長は「日本のものづくりの未来を背負う強いSIer集団を作り上げるためには人材の育成強化が何より重要」と強調する。



「多くの同志とともに第一歩を踏み出した」と久保田和雄会長

地域支部の設立も

各部会、分科会とも、本格的な活動はこれから。まずは協会の「中長期ビジョン」を策定し、このビジョンに沿って2019年度以降に実施する事業を確定し、予算を配分する。

また、今回設立したSIer協会の他に、この協会本部と連携して各地域で活動する地域支部の設立を目指す。

日本ロボット工業会会長の橋本康彦・川崎重工業取締役は「SIerとわれわれメーカーは、ロボット産業の発展にとって車の両輪。SIer協会の活動を日本ロボット工業会でも積極的に支援したい」と話す。SIer協会の久保田会長は「SIerには大きな期待と注目が寄せられている。競争すべきところは競争し、協調すべきところは協調して、日本のロボット産業を盛り立てていく」と意気込みを述べた。

(曾根勇也)



100数十社が詰めかけた設立総会の会場